

平成30年度教育委員会の基本方針等（案）について

宇佐市教育委員会

平成30年 月

はじめに

宇佐市教育委員会では、「大人が学び、子どもたちが学ぶ教育の郷づくり」の基本理念のもと、人々がいつでも、どこでも、だれでも学ぶことができる教育環境の整備に努めている。

市長と**教育長**・教育委員で組織する「総合教育会議」において、平成27年度からの10年先を見通した本市の教育行政の方向や施策を示した「宇佐市教育振興基本計画」が「宇佐市教育行政の大綱」に承認され、この「教育大綱」に沿って、生涯にわたって共に学びあえる学習機会の充実に向け取り組んでいる。

本計画の特色としては、「宇佐市が目指す教育」を実現していくための「3つのビジョン」と「10の取組の方向」さらには、その取組み方向に基づいた「30の重点施策」を整理し、次代を担う子どもたちが、心豊かに社会を生き抜く力を身に付けられるよう宇佐市らしい教育の推進を示している。この「宇佐市教育振興基本計画」に基づき、平成30年度の基本方針等では、教育分野の方向性を示し、教育の一層の充実を図る。

I. 教育総務課

《教育総務係》

1. 基本方針

教育委員会の方向性や重点的な取り組みを、「教育行政方針」として市民に示し、「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書」では、それぞれの施策が確実に実施され、どのような成果があるかなどを点検・評価することで、教育行政の改善を図り、地域住民の意見を反映しながら、教育に関する情報提供に努め、開かれた教育委員会を目指す。

併せて、少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて、公立学校の適正規模・適正配置等に関する調査研究を行う。また、学校施設の維持管理については、各学校の施設環境整備、特に学習意欲の向上のため、教室環境の整備を図る。

高等学校等へ勉学の意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な生徒に対して奨学制度による支援を行う。

2. 重点目標

ア 教育委員会の活性化

(1) 教育委員会の活性化

保護者や地域住民の期待にこたえる質の高い教育を目指し、地域のニーズに応じた教育行政を主体的に企画し実行していくために、教育委員

への情報提供を行いながら、学校や地域教育施設等の計画的な視察、あるいは、市長、学校、保護者との意見交換など広聴活動を行い、教育委員会体制をより充実し、教育委員会の活性化を図る。

(2) 開かれた教育委員会

教育行政方針や市教育委員会便りを発行するとともに、教育活動の状況や教育委員会が行っている施策をホームページ等を通じて保護者や地域住民に周知させ、広報活動の充実を図る。

(3) 「うさ教育・家庭・読書の日」の推進

毎年11月の第3日曜日の「うさ教育・家庭・読書の日」については、平成25年度から平成29年度まで教育講演会等のイベントに取り組み、一定の成果をあげることができた。今年度は、教育委員会、学校、家庭等での読書活動等の推進により、豊かな心の育成や学力向上の機運の醸成に取り組む日として、教育委員会便り等を通して啓発に努める。

イ 学校施設・設備の充実

(1) 公立学校の規模の適正化

本年度も引き続き、公立学校の規模の適正化等の検討を行うため、公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会を開催する。

(2) 学校施設・設備の充実

市内幼小中学校の施設の老朽化、不具合箇所等、地域やPTAが中心となり、環境整備を行う活動の支援を行う。

ウ 奨学制度による支援

(1) 教育の機会均等と人材育成を図るための奨学制度による支援

高等学校等へ勉学の意欲がありながら、経済的理由により就学が困難な生徒に対して、教育の振興に寄与することを目的として奨学制度による支援を行う。

3. 事業計画

具体的な施策	指標の説明	平成30年度 指 標	備考
ア 教育委員会の活性化（5項目）			
①教育委員の視察・研修への取組	学校、各種教育施設の視察・先進地研修	実 施 (9回)	学校訪問3回 社会教育施設訪問1回 図書館施設訪問1回 給食センター訪問2回 教育委員研修2回
②総合教育会議の開催	市長と 教育長 ・教育委員との「総合教育会議」	実 施 (年2回)	平成29年度実施 10月・2月
③教育行政方針の策定	教育委員会の方向性を明確化する	実 施	4月発行
④宇佐市教育委員会ニュースの発行	教育委員会実施行事の広報、内容の充実	実 施 (年4回)	市教委便り 1月・4月・7月・10月

⑤ホームページの充実	教育委員会会議録・教育行政方針・市教委便りの掲載	実施	
イ 学校施設・設備の充実（2項目）			
①公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会開催	公立学校適正規模及び適正配置等検討委員会開催	年1回開催予定	
②学校施設環境整備活動支援事業（小中学校）	学校設備の改善を促進するため、地域やPTA等により自主的に行う環境整備活動を支援する	小学校（24校） （分校含む） 中学校（7校） 実施	
ウ 奨学制度による支援（1項目）			
①奨学制度による支援	宇佐市奨学資金 藤・稲尾奨学資金	補助人数 46人、16人	

《学校施設整備係》

1. 基本方針

学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、いきいきと学び、生活する場であり、安心して学べる教育環境でなければならない。その具体策として教育環境の質的向上を図る方針のもと、学校施設・設備の充実を重点目標として掲げ、平成28年度より「第3次宇佐市立学校教育施設整備計画」に基づき、学校施設の空調設備の整備、プール施設の整備に取り組んでいる。平成30年度においても引き続き空調設備及びプール施設の整備に取り組んでいく。

また、学校現場等の声を反映した老朽化・不具合箇所等の改善にも努め、安心して学べる教育環境づくりを目指す。特に改善要望の多数を占めるトイレの洋式化を積極的に推進し、子どもたちの教育活動に支障をきたすことがないように施設の整備や維持管理を図る。

2. 重点目標

ア 安全・安心な学校づくり

- (1) 落下物や転倒物から子どもたちを守るため、非構造部材の耐震対策の推進
- (2) 学校生活を不自由なく過ごせるように、バリアフリー化の推進
- (3) 遊具等の安全点検の実施

イ 学校施設・設備の充実

- (1) 第3次宇佐市立学校教育施設整備計画に基づく空調設備の整備、プール施設の整備
- (2) 老朽化に伴う教育設備の改修・整備の実施

3. 事業計画

具体的な施策	指標の説明	平成 30 年度 指 標	備考
ア 安全・安心な学校づくり（1項目）			
①小学校遊具の整備・充実	個別遊具の設置	実 施 (個別 5 校)	平成 29 年度 (個別 4 校 5 基)
イ 学校施設・設備の充実（3項目）			
①教育環境の質的向上 (エアコン整備事業・中学校)	普通教室等の空調機器設置	実 施 (7 校) 中学校整備	平成 29 年度繰越 小学校 (12 校)
②教育環境の質的向上 (小・中学校プール施設改修事業)	プール施設の整備	実 施 小学校 1 校 中学校 1 校	平成 29 年度繰越 中学校 1 校
③教育環境の質的向上 (小・中学校各種設備改修事業)	トイレの環境改善等	トイレ洋式化率 53%以上	平成 29 年度 52%

II. 学校教育課

1. 基本方針

学校教育は、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中、子どもたちが心豊かに、たくましく生き抜いていく力と意欲を高める教育の確立のために、学校・家庭・地域が連携し協働して、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる生きる力を養うとともに、国家及び社会の形成者としての資質の育成を目標とするものである。そこで、学校教育課は「個性豊かな人材と文化を育むまち」の実現のため、地域とともにつくる学校を推進する中で、学習指導要領の着実な実施を図り、趣旨を踏まえた学校体制の確立と教育内容を充実させ、安全・安心な学校づくりを基本方針とする。

この基本方針を具現化するために、「子どもたちに誇りと希望、そして夢を」をテーマに、「自ら学ぶ力と豊かな心を育み、未来に希望と夢を抱き、ふるさと宇佐に誇りのもてる宇佐市民の育成」と「規律ある集団において、他を受け入れ、自己を表現する中で仲間とともに自己開花できる児童生徒の育成」を柱にして、自ら夢に向かって仲間とともにたくましく歩く児童生徒の育成を目指し、以下の重点目標を策定する。

2. 重点目標

ア 幼児教育の充実

(1) 幼児教育の質の向上

イ 安全・安心な学校づくり

- (1) 学校安全の推進
- (2) 学校保健の充実

ウ 教育内容の充実

- (1) 確かな学力を身に付けるための教育内容の充実
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成

エ 学習環境の整備・充実

- (1) 良好で質の高い学びを実現する教育環境の整備
- (2) 信頼される教職員の育成
- (3) 経済的、地理的条件が不利な子どもたちに対する支援

オ 地域に開かれた学校づくり

- (1) 地域に開かれ確かな絆で結ばれた特色ある学校づくり

カ 特別なニーズに対応した教育の推進

- (1) 啓発活動と個別支援計画の充実

キ 特別支援教育環境の充実

- (1) 教育環境と支援体制の充実

ク 幼小中高連携教育の充実

- (1) 幼小中高連携教育による多様性のある教育の推進
- (2) 幼小中学校の円滑な接続
- (3) 中学校と地元高等学校の連携強化

3. 事業計画

具体的な施策	指標の説明	平成30年度 指標	備考
ア 幼児教育の充実（3項目）			
①宇高地区幼稚園教育協議会	協議会の開催	年2回	
②ALTの配置	週1回	実施	
③幼保小連携研修会	年2回程度	実施	
イ 安全・安心な学校づくり（8項目）			
①学校安全計画の策定	学校安全計画を策定し、学校の安全を確保	実施	
②防災教育及び避難訓練の実施	学校安全計画に基づく防災教育・避難訓練の実施	実施	
③学校保健計画の策定	心身の健康のための保健計画の策定	実施	
④保護者、地域住民との連携を強化したスクールガード体制の確立	体制の確立・強化と安全で安心な環境づくり	実施	
⑤児童生徒、教職員の健康診断の実施	学校保健安全法に基づく健康診断	実施	

⑥学校における労働安全衛生管理体制の整備	定期的な労働安全委員会の開催と労働環境の改善	実施	
⑦児童生徒の心のケアや教職員のメンタルヘルスへの早期対応	健康相談・指導体制の構築	実施	
⑧フッ化物洗口による歯と口の健康	市内全小学校におけるフッ化物洗口の周知及び実施体制の構築	実施	
ウ 教育内容の充実（14項目）			
①宇佐市ステップテスト	宇佐市ステップテスト（中1、中2）	実施	
②複式授業改善臨時講師配置事業	複式学級の授業改善を図るため臨時講師を配置し、小規模校の教育内容の充実を図る	14人配置	
③多人数学級支援教員配置事業	36人以上で単式学級となる学校に支援教員を配置して、複数指導や少人数指導体制の整備を図る	6人配置	
④習熟度別学習指導教員配置事業	中学校に指導教員を配置し、習熟の程度に応じたきめ細やかな学習指導を行い、低学力層の底上げを図る	7人配置	
⑤外国語指導教育指導員	児童生徒の英語力向上をめざし、ALTと英語科担当教員との連絡調整及び授業内容の連携を図る	1人配置	
⑥外国語指導助手派遣事業	外国語への興味、関心を高め、グローバルな感性を育成するため指導助手を派遣	4人派遣	
⑦中学生短期留学事業	国際感覚を身につけた人材と、英語力向上をめざし中学生を海外に派遣する	20人派遣	
⑧総合的な学習等を活用したふるさと教育・キャリア教育の推進	外部講師による学習や職場体験を通してふるさと宇佐の良さに気づき、誇りを持つこと及び人と人をつなぐ勤労の大切さを体験する	実施	
⑨土曜授業	きめ細やかな指導、ゆとりある授業時数の確保	年間8回	

⑩人権教育ブロック別研修会及び市指定研究会	市指定研究会を実施し、児童生徒の人権意識の育成する効果的な教育実践の交流を図る	実施	
⑪宇佐市人権フォーラムの開催	各校における人権教育の実践を交流し、教職員の人権意識の高揚を図る	実施	
⑫学校復帰支援（せせらぎ教室）事業	不登校児童生徒の学校復帰を支援する適応指導教室に指導員、臨床心理士等を配置 インターネット環境の整備	指導員2人、臨床心理士等1人配置	
⑬体力向上推進事業の推進	・走力の向上を目指した取り組み ・なわとびを活用した体力づくりの取り組み	実施	
⑭スクールソーシャルワーカー活用事業	教育と福祉の両面に関して専門的知識を有するスクールソーシャルワーカーを活用して、学校の問題解決能力の向上を図る	スクールソーシャルワーカー1週間に4日配置	
エ 学習環境の整備・充実（11項目）			
①理科教育等設備整備事業	理科教育設備の整備率の低い学校から順次整備 小学校4校、中学校1校	豊川小・四日市南小・八幡小・駅館小・院内中	
②小中学校教育システム最適化事業	小中学校の教育システムの構築により業務効率及びセキュリティの向上を図る	校務ソフトの活用	
③ICT支援員	ICT機器を活用した授業への教材作成支援及び操作サポートを行うための配置	1人配置	
④校務支援システムサポーター	校務支援ソフトウェアのフォーマット作成及び年度更新作業。更には、教職員への操作サポート業務のため配置	1人配置	
⑤学校図書館活用推進事業	学校司書の配置	10人配置	

⑥部活動指導員の配置	教員の長時間労働を改善し負担軽減を図ることで、部活動を充実・活性化させる	2人配置 部活動指導員 1日2時間 週4日	
⑦スクール・サポート・スタッフの配置	教員の長時間労働を改善し負担軽減を図ることで、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備する	3人配置 スクール・サポート・スタッフ 1日6時間、年間200日	
⑧学校図書購入事業	小中学校の学校図書購入	実施	
⑨遠距離通学補助事業	タクシーによる送迎業務委託と路線バスの定期代補助	実施	
⑩スクールバス運行事業	市所有バスを利用した送迎業務委託	実施	
⑪就学援助費	就学困難と認められる児童生徒の保護者に対する援助費の支給	実施	
オ 地域に開かれた学校づくり（2項目）			
①宇佐市教育の日を中心とした学校公開の推進	毎月19日を宇佐市教育の日として学校公開	実施	
②コミュニティ・スクールの導入による地域とともにある学校づくり	市内全小中学校にコミュニティ・スクールを導入する	実施	
カ 特別なニーズに対応した教育の推進（2項目）			
①宇佐市啓発フォーラム	市民集会の開催	実施	
②個別支援計画の充実	支援ファイル「あしあと」の配布、活用	実施	
キ 特別支援教育環境の充実（4項目）			
①特別支援教育支援員配置事業	特別の支援を必要とする園児児童生徒に対し適切な教育を行うため支援員を配置	42人配置	
②特別支援教育コーディネータ	特別な支援を必要とする子どもの支援計画作成補助及び特別支援教育支援員への助言	1人配置	

③特別支援教育就学奨励費	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減する	実施	
④特別支援学校教諭免許取得率	免許取得率の向上	率の向上	
ク 小中高連携教育の充実（4項目）			
①連携型小中高一貫教育の推進	安心院高と安心院・院内地区の小中学校の連携活動の推進	実施	
②高校とのジョイント事業	市内高校への進学を推進するため高校の教諭が市内5中学校で授業を行う	2高校	
③中高連携会議の開催	実務者会議の開催	実施	
④中高校長連絡協議会	地域の子どもは地域で育てる宇佐市教委の教育方針実現に向け小中高12年を見通した教育課程のあり方を考える	年3回	

Ⅲ. 学校給食課

1. 基本方針

学校給食は、成長期にある児童生徒に栄養面での調和のとれた食事を提供することにより、よりよい健康状態を保ち、心身の成長を図りながら食に関する正しい知識を身につけさせ、児童生徒の健全な発達に資することを目的に学校教育の一環として実施するものである。

また、学校で給食を共にすることにより、教師と児童生徒、また児童生徒相互の心のふれあいの場をつくり、事前の準備や後片付けを通して、自分の役割分担など社会生活における重要な体験をする場となっている。

このような状況を踏まえて学校給食の運営にあたっては、国が定めた学校給食衛生管理基準を踏まえて作成した「宇佐市学校給食衛生管理基準ガイドライン」を徹底し、児童生徒に栄養に富んだ多彩で安全・安心な給食を提供していく。

さらに、学校給食を通して児童生徒が食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活の実践ができるように、食育についても学校と連携を図り推進していく。

加えて、施設・設備の適正な維持管理を図り、細心の注意を払いながら調理工程などに従事する。

給食食材の調達については、毎月の「ふるさと給食の日」を中心に、安全・

安心な食材で可能な限り地場産物の活用に努め、地産地消の推進を図る。
 給食費徴収については、学校と連携を図りながら、公平負担の原則に基づき取り組んでいく。
 食物アレルギーの対応については、宇佐学校給食センター・南部学校給食センターともに、食物アレルギー対応食を引き続き実施する。

2. 重点目標

ア 学校給食の充実

(1) 安全で安心な学校給食の提供

- ・学校・家庭との連携を図った学校給食の提供
- ・学校給食の安全性の確保
- ・調理工程と施設及び設備における衛生管理基準の徹底及び点検の実施
- ・給食施設職員の衛生検査及び研修会の実施
- ・食物アレルギー対応食の実施
- ・給食会計において、現金取扱基本マニュアルに則り適切な会計処理を行う。また、給食費の徴収方法については、学校給食センター運営委員会で検討した結果、平成30年度より口座振替に変更する。
- ・未納給食費については、公平負担の原則により学校の協力を得ながら取り組む。

(2) 食育の推進

- ・学校給食食材における地産地消の取組の推進
- ・「食育基本法」、「学校給食法」等に基づく食育の指導
- ・市のホームページで保護者等が学校給食に関心を持てるような取組
- ・給食フェスタの実施

3. 事業計画

具体的な施策	指標の説明	平成30年度 指標	備考
ア 学校給食の充実			
(1) 安全で安心な学校給食の提供 (8項目)			
①学校と家庭と連携した学校給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・給食の提供回数 米飯給食回数 パン給食回数 牛乳回数 副食回数 ・運営委員会 ・献立委員会 ・給食だより 	年197回 週 4回程度 週 1回程度 週 5回 週 5回 年 1回 年 3回 全保護者に配布	
②検食の実施	小学校 (24校及び分校) 中学校 (7校)	年197回	

③衛生管理基準の徹底	学校給食衛生管理基準を踏まえて作成した「宇佐市学校給食衛生管理基準ガイドライン」の徹底	衛生管理の状況を定期的に点検	
④施設の衛生管理	施設の消毒 有害生物モニタリング	年 3回 年間実施	
⑤給食施設職員の衛生検査、研修	検便 個人衛生点検表提出 研修会（衛生講習会）	月 2回 毎日 年 4回	
⑥食物アレルギー食材の除去食	宇佐学校給食センター 南部学校給食センター	実施 実施	
⑦運営委員会会計監査	宇佐学校給食センター 南部学校給食センター	年 3回 年 1回	
⑧未納給食費への対応	・口座振替不能通知での連絡 ・督促状の発送	実施 年 3回	
(2) 食育の推進 (4項目)			
①地産地消の取組推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと給食の日」を設定し地元産の食材使用 ・「学校給食1日まるごと大分県」などのイベントを通じた地産地消の推進 ・「マテ貝堀」や「クロダマルの枝豆収穫」など食育体験と連携した取組 	毎月 1回 年 1回 年 2回	
②食育の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での食育授業、給食時間における食に関する指導 ・学校給食の試食、学校給食センター見学の受入れ 	年間実施	
③ホームページの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の給食や献立を写真とコメント付で紹介、給食レシピ、行事等については随時紹介 	年間実施	
④給食フェスタの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に関する資料等の展示 ・給食の試食 	年 1回	

IV. 社会教育課

《生涯学習係》 《院内地域教育係》 《安心院地域教育係》

1. 基本方針

近年、高度情報化、グローバル化の進展等によりめまぐるしく変化する社会情勢に対応するため、人々は絶えず新しい知識や技術等の習得が必要となっている。また、長寿社会による生活時間の拡充や社会の成熟化に伴い自由時間が増大している現在、心の豊かさや生きがいのための学習機会の需要が増加していることから、一人ひとりが自分自身を高め、より豊かな生活を創り上げていくことが肝要となる。

本市においても、少子高齢化、過疎化等による地域社会の構造変化がみられる中、生涯学習の果たす役割はますます重要となっており、市民が生きがいを持ち充実した生活をおくることができるよう、学習活動、交流活動、人づくり、まちづくりの拠点となる公民館をはじめとした社会教育関係施設の適正な維持管理、施設・設備の充実を図り、社会教育関係団体との連携、各種学習事業の提供に努めるとともに家庭教育支援の充実を図る。

また、子どもの生きる力を育むために、学校・家庭・地域社会が連携し、様々な体験の機会を提供できるよう地域社会における教育力の向上を目指し、「協育」ネットワークの構築に努める。

人権教育については、生涯学習推進の根底に人権尊重の精神があることを踏まえ、人権問題が市民一人ひとりの問題であることの認識を深め、お互いが尊重して生きて行くことのできる地域社会づくりに努める。

院内地域・安心院地域においては、各まちづくり協議会等との協働により、住民の意見や要望を積極的に取り入れ、各公民館と連携した各種講座・教室の開設に努め、地域のリーダーとしての人材育成と生涯学習の推進を図る。

2. 重点目標

ア 生涯学習施設・設備の充実

(1) 生涯学習施設・設備の充実

- ・施設の現状調査を行い、改修計画等の立案及び各種委員会等で協議
- ・老朽化による施設・設備の改修及び整備計画の策定とその実施
- ・安心院中央公民館の建設工事開始予定（安心院地域複合支所内）

イ 生涯学習活動機会の拡充

(1) 社会教育推進体制の充実

- ・社会教育委員会、公民館運営審議会等の活性化
- ・社会教育関係職員（社会教育主事、公民館長、社会教育指導員等）の体制強化、研修の充実
- ・公民館、地区公民館、分館、関係職員等の組織や在り方の見直しと検討

(2) 活動機会の拡充

- ・地域の特色を活かした学級・講座・教室等の開設、充実
- ・学習成果を活かす機会の充実

ウ 青少年育成関係組織・体制の充実

(1) 関係組織・体制の充実

- ・青少年健全育成市民会議及び各地区協議会の育成支援
- ・各種関係団体（自治会、女性団体、PTAその他各種団体）との連携
- ・青少年問題協議会の充実
- ・安心院B&G海洋センター事業の推進

エ 健全な社会環境づくり

(1) 有害環境浄化活動の推進

- ・関連業界、店舗等に取り組の周知、協力の促進
- ・学校、家庭、地域及び警察署等関係機関、関係団体との連携強化

オ 地域「協育力」向上支援の充実

(1) 学校、家庭、地域の連携による教育支援の充実

- ・地域住民へ学校支援活動の周知及びボランティア登録の推進
- ・取組内容の充実、プログラムの開発
- ・「小学生チャレンジ教室」の取組の推進
- ・「中学生学び応援教室」の取組の推進
- ・「放課後児童クラブ」との連携

カ 家庭教育支援の充実

(1) 家庭教育支援の充実

- ・7中学校区で家庭教育支援チームの設置及び活動支援
- ・各種団体、関係部局との連携体制の充実
- ・家庭での取組支援

(2) 「家庭の日」の普及・啓発

- ・「家庭の日」の取組を図るための普及・啓発（「うさ教育・家庭・読書の日」の推進）

キ 人権尊重社会の推進

(1) 地域全体で推進する体制づくり

- ・社会教育集会所事業の充実及び関係機関との連携強化

(2) 人権教育・啓発の推進、拡充

- ・「同和問題、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、医療、さまざまな人権」などの課題における人権学習の拡充
- ・各種学級・講座・教室等に人権学習を取り入れ、住民への教育・啓発活動を推進
- ・公民館、社会教育集会所、各種団体等の各学級・講座・教室での取組の充実

(3) 指導者の養成推進

- ・人権・同和教育に関する指導者及び講師等の養成と資質の向上

ク 人権総合対策の推進

(1) 経済生活の安定と社会福祉の増進

- ・ 関係組織との連携と充実

3. 事業計画

《生涯学習係》 ※安心院地域教育係、院内地域教育係 共通事項を含む

具体的な施策	指標の説明	平成30年度 指標	備考
ア 生涯学習施設・設備の充実（2項目）			
①公民館等施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会開催 ・ 施設等の維持・管理 	年1～2回実施 4公民館他	共
②社会教育集会所の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状調査、計画検討 ・ 施設等の維持・管理 	現状調査	共
イ 生涯学習活動機会の拡充（3項目）			
①社会教育推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員会 ・ 公民館運営審議会 ・ 社会教育関係職員研修 (資質の向上、体制強化、定例会議) ・ 人権同和教育研修会 ・ 大分県公民館研究大会 ・ 中津地区公民館振興大会、社会教育研究集会 	年3回実施 年2回実施 12回定例会他 随時 年1回 年2回	共 共 共
②活動機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学級、教室、生涯学習作品展等の開催 ・ 宇佐子ども体験教室 	随時 (作品展年1回) 年8回	共
③成人教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人式式典 ・ 公民館各種学級・講座 高齢者、婦人、女性等各学級 	実施(1月13日) 4公民館 25学級	共
ウ 青少年育成関係組織・体制の充実（1項目）			
①関係組織・体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年健全育成市民会議 ・ 各地区青少年健全育成協議会 ・ 青少年問題協議会組織の 充実 	年1回 7地区協議会年3回 年1回	共 共
エ 健全な社会環境づくり（1項目）			
①有害環境浄化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深夜営業の店舗等関連業界、店舗等に取組の周知、協力の促進 ・ 地域、警察署等関係機関等との連携取組 	店舗への周知 実施	共 共

オ 地域「協育力」向上支援の充実（3項目）			
①地域「協育力」向上支援の(放課後プラン)推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生チャレンジ教室 西馬城、佐田、深見、南院内 院内中部、天津、長峰+ 2 ・中学生学び応援教室 ・地域学校協働活動推進事業 7中学校区 	9 箇所実施 3 箇所実施 随時実施	共 共
②ボランティア登録の推進	学校支援ボランティア (学校支援地域本部事業)	520 人登録	共
③「放課後児童クラブ」との連携	連携した取組と連携会議の実施	実施	共
カ 家庭教育支援の充実（2項目）			
①家庭教育支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームの設置 (7中学校区) ・連携会議の実施 ・指針冊子の配布、啓発 ・食育(料理教室) 	7 チーム 実施 実施 1 教室(4回)実施	共 共 共
②「家庭の日」の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭の日」の推進・啓発 (キャッチフレーズ募集・「うさ 教育・家庭・読書の日」の推進) ・社会教育関係団体等と連携し 「家庭の日」の推進 	実施 実施	共 共
キ 人権尊重社会の推進（3項目）			
①地域全体で推進する体制づくり	・人権教育促進事業 (教育集会所学級の開催)	12 集会所 35 学級	
②人権教育・啓発の推進、拡充	・公民館等人権教育講座の開催	各公民館 25 学級	共
③指導者の養成推進	指導者講習会の開催及び研修会参加	年 4 回(県他)	共
ク 人権総合対策の推進（1項目）			
①経済生活の安定と社会福祉の増進	教育集会所を拠点とした就学就業、福祉相談体制の充実と連携及び関係組織との連携	各集会所	共

《安心院地域教育係》

具体的な施策	指標の説明	平成30年度 指標	備考
ア 生涯学習施設・設備の充実（2項目）			
①公民館等施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 安心院中央公民館を安心院地域複合支所内に建設 施設等の維持、管理 宇佐市安心院グラウンド 	着工予定 3 公民館 1 グラウンド	
②社会教育集会所の整備	<ul style="list-style-type: none"> 施設等の維持、管理 	4 集会所	
イ 生涯学習活動機会の拡充（3項目）			
①社会教育推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係職員研修（資質の向上、体制強化、定例会議） 人権同和教育研修会参加 大分県公民館研究大会参加 中津地区公民館振興大会、社会教育研究集会参加 	年 12 回他 随時 年 1 回 年 2 回	
②活動機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 各学級、教室、生涯学習作品展等の開催 安心院地域ふれあい文化祭 地区公民館各種学級、講座 子ども太鼓教室（佐田） まちづくり協議会との協働で地区民体育大会開催4地区 	随時 （作品展年1回） 年1回開催 実施 実施 年各地区1回実施	
③成人教育	<ul style="list-style-type: none"> 公民館各種学級・講座 高齢者、婦人、女性等各学級 パソコン教室 安心院中央・佐田地区公民館 	4 公民館 22 学級 月 4 回程度実施	
ウ 青少年育成関係組織・体制の充実（1項目）			
①関係組織・体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 安心院地区健全育成協議会 薬物乱用防止指導員北部地区協議会 安心院B&G海洋センター推進事業 少年ドッジボール大会 少年剣道大会 	年 3 回 年 2 回 年 1 回実施 年 1 回実施	

エ 健全な社会環境づくり（1項目）			
①有害環境浄化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・深夜営業の店舗等関連業界、店舗等を取組の周知、協力の促進 ・地域、警察署等関係機関等との連携取組 	店舗への周知 実施	
オ 地域「協育力」向上支援の充実（3項目）			
①地域「協育力」向上支援の(放課後プラン)推進	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後チャレンジ教室 佐田・深見 ・学校支援地域本部事業 安心院中学校区 	2か所実施 随時実施	
②ボランティア登録の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア (学校支援地域本部事業) 	登録	
③「放課後児童クラブ」との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・連携した取組と連携会議の実施 津房・深見・佐田 	実施	
カ 家庭教育支援の充実（2項目）			
①家庭教育支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームの設置 ・連携会議の実施 ・指針冊子の配布、啓発 	安心院中学校区 実施 実施	
②「家庭の日」の普及 ・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター等募集 ・社会教育関係団体等と連携し「家庭の日」の推進 	協力 実施	
キ 人権尊重社会の推進（2項目）			
①人権教育・啓発の推進、 拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館等人権教育講座の開催 ・安心院地域人権講演会 	各公民館 年1回協働開催	
②指導者の養成推進	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者講習会の開催及び研修会参加 ・両院地区社会教育指導員 人権学習会 	年4回(県他) 年2回	
ク 人権総合対策の推進（1項目）			
①経済生活の安定と社会福祉の増進	<ul style="list-style-type: none"> ・教育集会所を拠点とした就学就業、福祉相談体制の充実と連携及び関係組織との連携 	各集会所	

《院内地域教育係》

具体的な施策	指標の説明	平成30年度 指標	備考
ア 生涯学習施設・設備の充実（2項目）			
①公民館等施設の整備	・施設等の維持、管理	5 地区公民館維持、管理	
②社会教育集会所の整備	・施設等の維持、管理	3 集会所維持、管理	
イ 生涯学習活動機会の拡充（3項目）			
①社会教育推進体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館運営委員会 ・社会教育関係職員研修 (資質の向上、体制強化、定例会議) ・人権同和教育研修会参加 ・大分県公民館研究大会参加 ・中津地区公民館振興大会、 社会教育研究集会参加 	年1回実施 年12回他 随時 年1回 年2回	
②活動機会の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級、教室、生涯学習作品展等の開催 ・院内芸術文化祭参加 ・地区公民館各種学級・講座 ふれあい体験学習 	随時 (作品展年1回) 年1回協働開催 各学校との協働実施	
③成人教育	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館各種学級・講座 高齢者、婦人、女性等各学級 ・中央公民館各種学級・講座 山野草教室外6教室 ・院内地域女性スクール合同学習会 ・コミュニティ活動推進 各地区祭等 ・まちづくり協議会との活動推進 	5 公民館 月1回実施 年10回実施 年1回実施 協働実施 協働実施	
ウ 青少年育成関係組織・体制の充実（1項目）			
①関係組織・体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・院内町児童生徒を守る協議会 ・各地区公民館活動 ・薬物乱用防止指導員北部地区協議会 ・院内町児童生徒育成会 	年2回 年2回 年1回	
エ 健全な社会環境づくり（3項目）			
①有害環境浄化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・深夜営業の店舗等関連業界、 店舗等に取組の周知、協力の 促進 ・地域、警察署等関係機関等との 連携取組 	店舗への周知 実施	

オ 地域「協育力」向上支援の充実（3項目）			
①地域「協育力」向上支援の(放課後プラン)推進	・放課後チャレンジ教室 南院内、院内中部 ・学校支援地域本部事業 院内中学校区	2か所実施 随時実施	
②ボランティア登録の推進	学校支援ボランティア (学校支援地域本部事業)	登録	
③「放課後児童クラブ」との連携	連携した取組と連携会議の実施 南院内、中部、北部小	実施	
カ 家庭教育支援の充実（2項目）			
①家庭教育支援の充実	・家庭教育支援チームの設置 ・連携会議の実施 ・指針冊子の配布、啓発 ・中央公民館講座 味の伝承講座	院内中学校区 実施 実施 年10回	
②「家庭の日」の普及・啓発	・ポスター等募集 ・社会教育関係団体等と連携し 「家庭の日」の推進	協力 実施	
キ 人権尊重社会の推進（3項目）			
①地域全体で推進する体制づくり	・人権教育促進事業 集会所解放講座 ふれあい学習会	2か所実施 1か所実施	
②人権教育・啓発の推進、拡充	・公民館等人権教育講座の開催 ・院内人権啓発合同学習会	各公民館 年1回開催	
③指導者の養成推進	・指導者講習会の開催及び研修会参加 ・両院地区社会教育指導員人権学習会	年4回(県他) 年2回	
ク 人権総合対策の推進（1項目）			
①経済生活の安定と社会福祉の増進	教育集会所を拠点とした就学就業、福祉相談体制の充実と連携及び関係組織との連携	各集会所	

《平和ミュージアム建設準備室》

1. 基本方針

戦後70年が経過し、戦争の記憶が風化しようとしている現在、本市には、かつての戦争により多くの命が犠牲になった歴史や戦争遺構が数多く現存している。

宇佐市平和ミュージアム（仮称）は、資料館と遺構群で構成し、近現代

における戦争の歴史を明らかにするとともに、多くの人々に「平和の大切さと命の尊さ」について考える機会を提供することを目的とし、平成 32 年度の開館に向けた取組を推進する。

2. 重点目標

ア 資料館の整備

(1) 宇佐市平和ミュージアム（仮称）建設準備委員会の開催

平成 27 年度より施設計画、展示計画、資料の収集、整理及び保管、活動及び管理運営に関することについて審議する宇佐市平和ミュージアム（仮称）建設準備委員会、プロジェクトチームを組織し、資料館建設に必要な事項について審議を行っている。平成 30 年度においても引き続き委員会を開催し、資料館の整備に向けた取組を進める。

(2) 資料館建設の推進

平成 31 年度の工事完了を目指し、資料館建設スケジュールに沿った取組として、平成 30 年度においては、**展示業務、建築業務に着手する。**

(3) 平和ミュージアム構想 P R 事業

平成 29 年度の**実施設計業務で施設概要が確立した**ことにより、資料館建設をはじめ事業全般の**いっそうの**周知を図る。特に修学旅行、団体旅行の誘致を図るため、旅行会社等に P R 活動を行う。また、事業全般の財源確保の取組として、市外の企業に対する企業版ふるさと納税、市外の方を対象としたふるさと納税制度**について**、積極的に P R を行うことや市内の方を対象とした仕組みの検討を重ねる。

イ 遺構群の整備

(1) 宇佐空跡保存会育成事業

平成 29 年度に遺構めぐり拠点施設「宇佐空の郷」が開館し、地域住民が中心となり組織する「宇佐海軍航空隊跡保存会」へ施設管理を委託している。今後も団体の自立に向けての取組に対して**支援を続けるとともに**、この施設から、「平和の大切さと命の尊さ」のメッセージを発信し、平和学習、観光、交流の拠点施設となるよう機能の充実を図る。

(2) 第 2 次宇佐海軍航空隊跡保存整備計画の推進

平成 27 年度に策定した「第 2 次宇佐海軍航空隊跡保存整備計画書」に基づいた計画的な戦争遺構の整備を図る。

平成 30 年度は**エンジン調整場周辺用地の取得、落下傘整備所、エンジン調整場、半地下式コンクリート造建物及び配水場附属施設の保存整備工事を行う。**また、城井 1 号掩体壕、滑走路跡、爆弾池について**整備に向けた実施設計を行う。**引き続き計画書で短期整備として位置づけた遺構は、資料館の完成に合わせた整備を図る。

(3) モバイルガイドシステムの活用

平成 28 年度に基本的な機能を構築したモバイルガイドシステム「**うさんぽナビ**」は、スマートフォンやタブレットを使い、落下傘整備所等での音声や 3 D 映像で解説する遺構ガイド、近隣の観光、食事処、お土

産の紹介など、ガイドブック的な活用が可能となっている。平成 29 年度においては、パノラマ撮影データの追加など機能強化を図った。平成 30 年度においては、ミュージアム専用ホームページを作成し、平和ミュージアム構想、建設の進捗状況についての情報発信を強化するとともに、うさんぽナビとも連動したガイダンスシステムを構築する。

(4) シティバイク整備事業

半径 2 キロメートルの範囲に集中する遺構めぐりの交通手段として平成 29 年度は自転車、ラック 10 台の整備を行った。平成 30 年度においては、近くの観光地なども見学できるよう利用者の利便性の向上や充実した見学ルートを提供し、利用増を目指す。

(5) 戦争遺構を活用したまちづくり研究会事業

兵庫県加西市、姫路市、鹿児島県鹿屋市との連携事業として平成 30 年度において、「まちづくり・ひとづくり推進協議会(仮称)」を設立し、地域再生計画、地方創生推進交付金を活用したまちづくり事業を推進していく。

ウ 戦争関連資料の収集

(1) 充実した資料館の展示や、貴重な資料の保存や活用を図るため、宇佐海軍航空隊にゆかりのある資料の収集を行っていく。また、課題とされる大型展示物についても、収集又は借用の方向性を探る。

3. 事業計画

具体的な施策	指標の説明	平成 30 年度 指標	備考
ア 資料館の整備（4 項目）			
①建設準備委員会の開催	資料館建設に必要な事項を審議する委員会、プロジェクトチーム（PT）会議の実施	委員会開催 （4 回） PT 委員会議 （8 回）	
②建築工事	資料館建本体建築工事	業者決定 工事着手	
③展示業務委託	展示資料作成、展示什器類作成	業者決定 業務着手	
④平和ミュージアム構想 PR 事業	事業全般の周知をはじめ、修学旅行の誘致、企業版ふるさと納税の PR 活動を行う	関東圏 PR 関西圏 PR リーフレット作成	

イ 遺構群の整備（9項目）			
①宇佐空跡保存会育成事業	平成 28 年度末に完成した遺構めぐり拠点施設において、「平和の大切さと命の尊さ」のメッセージを発信し、平和学習、観光、交流の拠点施設として機能の充実を図るため、管理団体を育成する	管理体制の整備	敷地面積： 1,413 m ² 建築面積： 146.65 m ²
②-1 城井 1 号掩体壕、滑走路跡、爆弾池の実施設計	平成 29 年度に行った基本設計を基に実施設計を行う	実施設計	
②-2 エンジン調整場の用地取得、落下傘整備所、半地下式コンクリート造建物、配水場付属施設、エンジン調整場の、造成工事、保存整備工事	周辺用地を購入し、造成工事を行い、平成 29 年度に行った実施設計を基に工事を行う	測量 境界立会 用地取得 造成工事 不動産鑑定 保存整備工事	
②-3 フィールドミュージアム設計	遺構サイン計画の設計、施工のための調査を行う	基本設計	
③-1 モバイルガイドシステムの活用	モバイルガイド“うさんぽナビ”アプリのダウンロードを促すよう情報発信に努め、機能強化し、遺構めぐりの促進を図る	ダウンロード数 300 件	
③-2 専用ホームページの開設	ミュージアム専用ホームページを開設し、情報発信を強化する	実施	
④シティバイク整備事業	フィールド内の戦争遺構群を気軽に巡回できる自転車、ラックを整備する	自転車、ラックの整備	
⑤-1 戦争遺構を活用したまちづくり研究会事業	兵庫県加西市、姫路市、鹿児島県鹿屋市と連携し、「空がつなぐまち・ひとつくり推進協議会（仮称）」を設立し交付金事業の連携を行い、検証や見直し行っていく	推進協議会設立	

⑤-2 空がつなぐまち・ひとづくり交流事業	「空がつなぐまち・ひとづくり」についてのマーケティング調査、プロモーション計画策定などを共同で行う	「空がつなぐまち・ひとづくり」プロモーション計画策定、マーケティング調査の実施	
ウ 戦争関連資料の収集（1項目）			
①展示資料の収集	大型展示物や貴重な資料の収集	実施	

《文化財係》

1. 基本方針

文化財の宝庫である宇佐市は、昭和 51 年に「文化財保護宣言都市」を全国に先駆けて提唱し、合併後の平成 18 年にも再度決議を行い、貴重な文化財を保護し、未来へ伝えていくことを宣言している。

文化財とは、長い歴史の中で生まれ、育まれ、守り伝えられてきた文化的所産で、国や郷土の歴史・伝統・文化などを正しく理解するために欠くことのできないものであり、将来の文化の向上・発展の基礎をなす重要な国民的な財産である。

本市では、このかけがえのない市民の文化遺産である文化財を保存・活用するために、関係機関等と連携しながら緊急性を十分考慮して、各種文化財の調査や、整備などの事業を推進する。また、これらの成果を学校教育や社会教育における学習素材として活用することにより、郷土愛の育成や文化財愛護意識の高揚を図る。

2. 重点目標

ア 文化財の調査と保護

(1) 調査・研究の推進

民間開発や公共工事と、埋蔵文化財の保護を調整するために、発掘調査を実施する。調査終了後は調査報告書を刊行する。

(2) 文化財の指定と保護の推進

国指定特別天然記念物オオサンショウウオの保護のため、保存管理計画に従った適切な管理・指導を行うとともに、**生息地の現状変更等に関する権限移譲のために必要な管理のための計画を作成する**。また、各種文化財の調査を実施し、重要と判断されたものは、指定や登録することにより保護していく。

イ 文化財の整備と活用

(1) 史跡の整備と活用

国指定史跡法鏡寺廃寺跡等の保存と活用を図るため、史跡公園等の整備事業を実施する。**史跡宇佐神宮境内及び天然記念物宇佐神宮社叢については、今後の保存・管理の指針となる保存活用計画を策定する**。

(2) 宇佐市平和資料館の活用と戦争遺跡の整備

宇佐市平和資料館の適正な管理・運営を行うとともに、戦争遺構の調査や整備を図る。

(3) 文化財の保存と整備

建造物や絵画など朽損の著しい文化財については、修理して保存を推進するとともに、宇佐市が所有する史跡等については、草刈りなど適切に管理し、環境整備に努める。

ウ 郷土資料の収集と保存

(1) 郷土資料の収集と活用の推進

郷土の歴史資料や、宇佐海軍航空隊等に関する資料を収集し、保存に努める。

エ 伝統文化の保存と継承

(1) 民俗芸能等を継承する団体の支援

各地域で継承されている伝統芸能については、関係機関等と協議しながら後継者を育成し、保存と継承に努める。

オ 文化財愛護の啓発と普及

(1) 文化財の公開・活用の推進

文化財愛護意識の啓発と普及活動の一環として、郷土の歴史や文化財に対する理解を高めるための宇佐学講座等の各種講座を開催する。

(2) 防火・防犯体制の強化

文化財の防火施設の整備を実施するとともに防犯体制を強化し、文化財所有者の日常管理の重要性について理解を高める。

(3) 文化財愛護活動の支援

文化財愛護少年団の活動を助成するとともに、指導者の育成に努める。また、「宇佐の文化財を守る会」「安心院縄文会」などの団体と連携して文化財愛護意識等の啓発と普及を図る。

3. 事業計画

具体的な施策	指標の説明	平成30年度指標	備考
ア 文化財の調査と保護（6項目）			
①市内遺跡発掘調査事業	各種開発に伴う重要遺跡の確認調査を実施し、遺跡の保護と開発との調整を図るための資料を得る。また、既往調査の報告書を刊行する	実施	国庫補助事業
②公共工事対応発掘調査事業	公共工事で破壊の危機にある遺跡の保存を目的に発掘調査や調査報告書の作成を実施する	1遺跡報告書刊行	
③民間開発対応発掘調査事業	民間開発で破壊の危機にある遺跡の保存を目的に発掘調査を実施する	実施	

④特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理事業	川漁等で不時に捕獲された個体の保護とともに、保存のための各種調査及び委員会を開催する	調査2回 委員会2回 連絡協議会 2回開催	
⑤各種文化財調査	各種文化財について、大学等の研究者とともに調査を実施する	実施	
⑥文化財の指定・登録	文化財指定や登録について、調査と研究を実施する	実施	
イ 文化財の整備と活用（7項目）			
①国指定史跡法鏡寺廃寺跡保存整備事業	遺跡の保護のため史跡公園の整備を実施する	整備工事 実施	国庫補助 事業
②史跡宇佐神宮境内保存修理事業 (事業主体：宇佐神宮)	史跡の構成物件となっている池の景観保全を行う	菱形池の浚渫を実施	国庫補助 事業
③重要文化財善光寺本堂保存整備事業 (事業主体：善光寺)	経年劣化により雨漏りがみられる本堂の保存修理工事を実施する	1か年で 実施	国庫補助 事業
④史跡宇佐神宮境内及び天然記念物宇佐神宮社叢保存活用計画策定事業	史跡宇佐神宮境内や天然記念物宇佐神宮社叢の保存・管理に必要な各種課題を調査検討し、今後の整備・活用に向けての方針を策定する	3か年で 実施	国庫補助 事業
⑤宇佐海軍航空隊等展示施設管理事業	宇佐市平和資料館を日常的に管理・運営するとともに、展示資料の充実を図る	実施	
⑥指定文化財環境整備事業	(イ) 法鏡寺廃寺跡、檜本磨崖仏等の宇佐市が所有する史跡の草刈等の環境整備を行う (ロ) 上記とは別に史跡等の環境整備を、地元自治区等に委託して実施する (ハ) 指定文化財で説明板が老朽化したものの改修や、説明板がない文化財には新規に設置する	10か所 実施 7か所 実施 1か所 実施	
⑦史跡管理委託事業	土地の借上げにより駐車場用地等を確保し、史跡に来訪する市民等の便宜を図る	4か所 実施	
ウ 郷土資料の収集と保存（2項目）			
①三和文庫運営事業	寄付金を財源に、宇佐の歴史に関する資料の購入や書籍の出版を行う	実施	
②戦争資料収集事業	宇佐海軍航空隊に関する資料の収集を実施する	実施	

エ 伝統文化の保存と継承（1項目）			
①伝統芸能の継承育成	伝統芸能を継承する団体への各種助成事業をとおして活動を支援する	放生会道行囃子の継承活動及び国指定重要無形民俗文化財豊前神楽の後継者育成活動を支援	
オ 文化財愛護の啓発と普及（5項目）			
①宇佐学講座事業	関係機関や団体等と連携し、宇佐の歴史や文化財に関する講座を開催する	大人対象講座5回、子ども対象1回を開催	
②国指定文化財管理費補助事業	国宝・重要文化財建造物の防災施設の保守点検を実施する	3か所実施	国庫補助事業
③文化財防火デーの実施	毎年1月26日に防火・放水訓練と防災施設の査察を実施する	6か所実施	
④文化財愛護少年団育成事業	文化財愛護少年団の各種活動の支援、及び指導者の育成活動を推進する	2団体で実施	
⑤文化財保存団体等の支援	(イ)各種文化財の保存活動を行っている団体を支援する (ロ)宇佐の文化財を守る会・安心院縄文会などの市民団体と連携し、文化財の愛護意識の高揚や啓発普及を図る (ハ)関係機関や団体と連携して「世界農業遺産」や「世界文化遺産」関連事業を推進する	実施	

《図書館》

1. 基本方針

宇佐市民図書館は、図書館法、教育振興基本計画に基づき、多様な市民ニーズに応えるため一般資料や郷土資料、視聴覚資料のなどの収集・整理に努めるとともに、資料を活用した宇佐学顕彰事業の継続や施設機能を活用した展示会、講演会などを開催する。さらに、ネットワーク機能、分館、自動車図書館活動の充実を図り、幼児期から本に親しむ環境づくりや全域サービスの推進により、市民の書齋、情報センターとしての図書館づくりに努める。

また、「うさ教育・家庭・読書の日」の定着を図るため、家庭、地域、学校を通じた社会全体における取組を行うことで、子どもの読書活動を推進し、「第三次宇佐市子ども読書活動推進計画」の策定を行う。

少子高齢化、高度情報化、地方分権化等の社会の大きな進展・変化に伴う市民の様々な要請に対応するため、子育て支援やビジネス支援、医療・健康情報コーナー等の充実を図る。

2. 重点目標

ア 図書館サービスの充実

(1) 図書館資料の収集・整理の充実

一般資料・児童資料・調査相談資料・郷土資料・逐次刊行物・AV資料等を収集するとともに、子育て支援やビジネス支援、医療・健康情報など利用者の多様なニーズに配慮した資料の収集に努める。また、インターネットを活用した所蔵資料の整理と紹介を促進し、ホームページ内「デジタルライブラリー」やレファレンスサービスの充実に努める。さらに、図書館が導入しているデータベースの利用促進と充実を図る。

(2) 図書館資料と施設機能の有効活用

図書館開架スペース、エントランス、視聴覚ホール、渡綱記念ギャラリー、研修室、工作室等を活用した展示会、講演会、研修会、上映会を開催するとともに、図書館見学や一日図書館員などを通じ、子どもたちへの図書館利用啓発を促進する。また、老朽化した空調、照明などの設備を改修し利用環境の保全を図る。

(3) ネットワーク機能、分館、自動車図書館活動の充実と情報発信の促進

国立国会図書館、大分県立図書館、その他の公共図書館、専門図書館との連携により、きめ細やかな資料提供に努め、国立国会図書館「レファレンス共同データベース」への情報登録を促進し、レファレンスサービスの充実に努める。また、分館・自動車図書館の連携による全域サービスを推進し、市報・図書館だより・ホームページ・フェイスブック等を活用し、幅広く情報発信をする。また、図書館システムの更新を行い、状況に即したネットワーク機能の充実を図る。

イ 読書活動の推進

(1) 「宇佐市子ども読書活動推進計画」の推進

「第二次宇佐市子ども読書活動推進計画」の総括をもとに、「第三次宇佐市子ども読書活動推進計画」の策定を目指す。家庭、地域、学校を通じた社会全体における取組を行うことで、子どもの読書環境の向上を図る。

(2) 「うさ教育・家庭・読書の日」の推進

11月の第3日曜日の「うさ教育・家庭・読書の日」を啓発しながら、読書活動の推進を図るとともに、読書感想文・感想画コンクールなどを通じて子どもたちに読書の機会を創出する。

(3) 読書環境づくりの充実

市内全域サービスと団体貸出を促進する。小学一年生への利用案内、図書館見学、一日図書館員の実施や、各種講座・教室を開催。ブックスタート、読み聞かせ、おはなし会、ブックトークなどを通じて子どもの

読書環境の向上を図る。

(4) 図書館事業・行事の充実

読書月間、読書週間等に館内行事・展示等を実施。ボランティア団体の育成と、連携の強化を図ることで、図書館事業や行事の多様化と充実に努める。第20回目を迎える「横光利一俳句大会」事業は国民文化祭参加行事として実施する。「宇佐学顕彰事業」では宇佐学マンガシリーズ7作目として自由民権運動をリードした「大井憲太郎」を取り上げる。

3. 事業計画

具体的な施策	指標の説明	平成30年度 指標	備考
ア 図書館サービスの充実			
(1) 図書館資料の収集・整理の充実 (2項目)			
①市民一人あたりの貸出し冊数 (貸出密度)	市内貸出冊数/奉仕人口	5.3冊	
②市民一人あたりの蔵書冊数	蔵書冊数/奉仕人口	5.0冊	
(2) 図書館資料と施設機能の有効活用 (2項目)			
①上映会 (視聴覚ホール)	毎週土・日の上映会の来場者 ※夏休み、祝日の特別上映会を除く	100回上映 (1,200人)	
②ギャラリー展示	2階の渡網記念ギャラリー で各種企画展を開催展示	6,000人	
(3) ネットワーク機能、分館、自動車図書館活動の充実と情報発信の促進 (1項目)			
①小学校を中心にした全域サービス	自動車図書館ステーション 年間個人貸出冊数	29,000冊	
イ 読書活動の推進			
(1) 「宇佐市子ども読書活動推進計画」の推進 (1項目)			
① 第三次宇佐市子ども読書活動推進計画の策定	各種団体連携協議 ワーキング会議	3回 5回	
(2) 「うさ教育・家庭・読書の日」の推進 (1項目)			
① 読書感想文・感想画コンクール表彰式	応募点数	感想文2,300点 感想画2,200点	
(3) 読書環境づくりの拡充 (1項目)			
①新小学一年生への利用案内	図書館職員が学校へ出向き、 図書館の利用について説明する	利用案内希望の 市内全新年生	

(4) 図書館事業・行事の充実(2項目)			
①横光利一俳句大会	応募点数	全都道府県からの一般応募と市内全小中学校からの応募 (5,000点)	
②宇佐学頭彰事業	マンガ本の刊行	累計7冊 (29,30年度で刊行)	